

第 6 次小山市行政改革大綱実施計画の進捗状況について

1. 実施計画の取組効果額

平成 27-29 年度における効果額実績は、1,602,197 千円であり、5 年間の計画期間における目標効果額 2,420,787 千円に対する目標効果額比率は 66.2%でした。

		平成 29 年度	平成 28 年度※	平成 27 年度※
効果額実績	各年度	594,405 千円	441,598 千円	535,584 千円
	累計	1,602,197 千円	956,288 千円	535,584 千円
目標効果額	各年度	548,040 千円	413,311 千円	406,598 千円
	最終年度	2,420,787 千円		
達成率	対 当該年度	108.5%	106.8%	131.7%
	対 最終年度	66.2%	39.5%	22.1%

※記者会見時点

2. 効果額の達成率の高い取組・低い取組

(1) 効果額の達成率が高い取組

5 項目

※達成率が 100%を超える取組を抽出

No.	取組項目	担当課	実施状況・主な取組内容
4	水道事業運営管理の民間委託の推進	水道課	<p>【29 年度の取組】平成 29 年 4 月 1 日より委託業務を拡大して、包括業務委託を開始。</p> <p>【効果額】直営時運営費 22,599 千円－委託費 18,079 千円＝単年度効果額 4,520 千円 ：実績 27,480 千円／目標 13,560 千円 達成率 202.7%</p>
48	ジェネリック医薬品の利用促進	国保年金課	<p>【29 年度の取組】年 4 回差額通知発送、公民館まつり・講演会等でのシール配布、医師会・薬剤師会に協力依頼</p> <p>【効果額】軽減効果額(保険者負担額) ：実績 136,685 千円／目標 25,000 千円 達成率 546.7%</p>
62	公共施設等における広告料収入等の確保	管財課	<p>【29 年度の主な取組】新規広告媒体を模索していたところ、現在協定を締結している広告業者から、新庁舎向けに市民課等の窓口向けの呼び出しシステムのモニターと広告を一組にした設備の設置を提案された。</p> <p>【効果額】年度ごと広告料収入額見込と平成 25 年度広告料収入額 3,958 千円の差額 ：実績 1,394 千円／目標 1,186 千円 達成率 117.5%</p>
63	ふるさと納税制度の活用	総合政策課	<p>【29 年度の取組】 ・謝礼品に高齢者の見守りを行う「ヤクルト愛の見守り訪問活動」を追加 ・体験型謝礼品として、「ツール・ド・おやま参加権」「おやま思川ざくらマラソン参加権」を追加 ・謝礼品出品事業者を対象とした講習会を開催(8 月 4 日)</p> <p>【効果額】毎年 1 月～12 月、寄附者への謝礼品贈呈経費控除後の額 ：実績 93,187 千円／目標 50,000 千円 達成率 186.4%</p>
64	市有地の有効活用	管財課	<p>【29 年度の取組】法定外公共物及びその他有地の払下申請に基づき、順次払下手続きを進めている。</p> <p>【効果額】未利用地の売却等による収入額 ：実績 176,384 千円／目標 100,000 千円 達成率 176.4%</p>

※目標は H27～H31 の累計または最終年度(H31 年度)の値、実績は H27～H29 の累計値

(2) 効果額の達成率が低い取組 2 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容及び進捗が遅い理由等
44	公共工事コストの縮減	管財課	<p>【29 年度の取組】東京オリンピック・パラリンピックや震災復興等による建設工事量の増大により全国的に技術者が不足しているため、建設費は高止まり状況であり、単にコスト削減の数値目標としては、達成することは困難であった。</p> <p>【達成率が低い理由等】深刻な担い手の不足や東京オリンピック開催等による資材の高止まりにより市場単価が上昇しており、コスト削減が難しい。</p> <p>【効果額】対策前設計と対策後設計額との差額 ：実績 0 千円／目標 210,000 千円 達成率 0 %</p>
60	学校給食費の収納率向上	学校教育課	<p>【29 年度の取組】学校給食未納世帯に対し、児童手当現金支給同意書の提出勧奨をし、延べ 194 世帯が提出。納付相談の結果 6,900 千円徴収した。しかし、児童手当は教材費にも当てられることから、学校給食費は 3,326 千円の徴収であった。家庭訪問・督促状も適宜対応していた。各種文書も外国人用に 5ヶ国語に翻訳し、活用していた。(英語、ポルトガル、スペイン、中国、タガログ)</p> <p>【達成率が低い理由等】 学校給食費未納者への徴収は各校で対応しているほか、児童手当現金支給の同意を得て、納付相談を行い徴収しているが、児童手当は給食費の他、教材費、旅行積立等にも充てられている。学校の事情により教材費等を優先にしている場合もある。平成29年度は、ほぼ目標数値の徴収を行えたが、平成28年度の実績を補うことはできなかった。</p> <p>【効果額】平成 25 年度分調定額を基に各年度の目標収納率を乗じ、年度ごとの収納見込み金額を算出し、平成 25 年度収納額と比較し計上 ：実績-394 千円／目標 660 千円 達成率 -59.7%</p>

※目標は H27～H31 の累計または最終年度(H31 年度)の値、実績は H27～H29 の累計値

3. 実施計画の取組進捗度

A：計画より早い取組	13 項目
B：計画通りの取組	52 項目
C：計画よりやや遅い取組	31 項目
D：計画より大幅に遅い取組	6 項目

※進捗度の判定は所管課によるもの

(1) 進捗度 A (計画より早い) 取組 13 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容等
28	未利用工業用地への誘致促進	工業振興課	<p>【達成目標】未利用工業用地への企業誘致(平成 29 年度まで 3 件の企業誘致)</p> <p>【29 年度の取組等】工業用地照会に対し、積極的に対応し、2 件の誘致に成功した。(27 年度に 2 件誘致済。)</p>
34	派遣研修の充実	職員研修所	<p>【達成目標】専門的知識等を有する職員の育成(平成 31 年度まで各年 30 名累計 150 名の派遣)</p> <p>【29 年度の取組等】専門的知識等を有する職員の育成をするために、多様な派遣研修を実施した。</p>

【資料 2】

41	市債残高の適正な管理	財政改革課	<p>【達成目標】 平成 30 年度の市債残高を 935 億円</p> <p>【29 年度の取組等】 工業団地造成に伴い新規発行があるものの、企業会計の償還による減等により、削減目標より 25 億下回った。</p>
45	公用車のエコカー導入	管財課	<p>【達成目標】 エコカーの導入台数 15 台</p> <p>【29 年度の取組等】 旧型の共用車から、更新対象として適切な車両を選定し、エコカーに更新した。</p>
48	ジェネリック医薬品の利用促進	国保年金課	<p>【達成目標】 ジェネリック医薬品使用率 80%</p> <p>【29 年度の取組等】 年 4 回差額通知発送、公民館まつり・講演会等でのシール配布、医師会・薬剤師会に協力依頼</p>
51	個人住民税の特別徴収の推進	市民税課	<p>【達成目標】 個人住民税の特別徴収実施率 80% (平成 29 年度)</p> <p>【29 年度の取組等】 特別徴収を推進には事業主などへ特別徴収制度の理解が必要であるため、市ホームページや広報おやまへの掲載や制度内容のチラシを特別徴収関係書類に同封、また、年末調整説明会にて周知を行い、啓発活動を行った。県内市町と会議などを通じて特別徴収推進に関する情報交換を行った。</p>
53	電子申告の推進	市民税課	<p>【達成目標】 電子申告の利用率を上げる</p> <p>【29 年度の取組等】 各事業所に対して、チラシを特別徴収関係書類に同封し、電子申告の普及に向けた啓発を行った。</p>
54	固定資産税未調査家屋等調査の強化	資産税課	<p>【達成目標】 年間 50 棟以上の家屋を調査する</p> <p>【29 年度の主な取組】 新增築調査時や、市内巡回時に把握した未調査物件について、調査し、課税した。</p>
64	市有地の有効活用	管財課	<p>【達成目標】 未利用地の売却等による歳入確保 (100,000 千円)</p> <p>【29 年度の取組】 法定外公共物及びその他市有地の払下げ申請に基づき、順次払下げ手続きを進めた。当該年度も法定外公共物の払下げ申請が一定数あり、またその他の未利用地についても、順調に売払えたことから、29 年度の売却額は 63,108 千円となった。なお、全体の目標額は既に達成済みとなっている。</p>
66	市営住宅の効果的な活用促進	建築課	<p>【達成目標】 入居者の移転集約</p> <p>【29 年度の取組等】 横倉新田団地、横倉団地の他団地への移転が完了し、横倉新田団地の解体が完了した。</p>
77	地域医療の推進	健康増進課	<p>【達成目標】 地域医療推進計画の策定と市民が地域医療について考え、学ぶ場の推進</p> <p>【29 年度の取組等】 9 回の市民会議において『学ぶ・考える・広める』というコンセプトを確立し、参加者の学びを市民に対する啓発にまで結びつける内容となった。その成果が市民会議ホームページの改編や「小山の医療を考えるシンポジウム」の自主運営につながっている。</p>
78	ボランティアと協働のイベント運営	商業観光課	<p>【達成目標】 イベント運営へのボランティア活用の拡充</p> <p>【29 年度の取組等】 小山市観光協会及び市主催事業において、市民活動センターでの募集、ボランティア団体・企業からの参加による多数のボランティアの参加があった。特に C&K 凱旋ライブでは 121 名のボランティアの協力があった。</p>
85	公園愛護里親会の組織の拡充	水と緑の推進課	<p>【達成目標】 公園愛護里親会の組織の拡大 (平成 31 年度には、会が組織されている公園数を 143 箇所) に拡大)</p> <p>【29 年度の取組等】 まちづくり研究会の場に、出前講座として参加して、愛護里親会の PR を実施した。また、活動が休止していた団体に出前講座による説明を行い、愛護里親会活動の再開を働きかけた。</p>

(2) 進捗度 D (計画より大幅に遅い) 取組 6 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容及び進捗が遅い理由等
23	文化財の調査とデータベース化	生涯学習課	<p>【達成目標】 文化財データベース化による業務の効率化と文化財紹介等の利便化</p> <p>【29 年度の取組等】 多岐に及ぶ分類や調査内容、また他事業との兼ね合いもあり、進捗していない状態である。</p> <p>【進捗が遅い理由等】 民間開発による発掘調査等の通常業務の他に古墳資料館の開館関連業務及び本庁舎の建替え整備に伴う埋蔵文化財発掘調査への対応等により当該事業へ対応可能な人員が不足し、データベース化の検討に必要な調査等を開始できない状況であるため。</p>
37	簡素で効率的な組織機構の構築	職員活性課	<p>【達成目標】 3 組織数の削減</p> <p>【29 年度の取組等】 重点政策課題を実現するために、組織機能強化を目的とした組織機構の改編案策定(～30 年 3 月) ≪平成 30 年 4 月 1 日現在 12 部 73 課 24 準課 210 係≫</p> <p>【進捗が遅い理由等】 行政需要に応えるための政策実現を優先しなければならない場合が多いため、少人数組織の減少が困難となっている。</p>
44	公共工事コストの縮減	管財課	<p>【達成目標】 公共工事コストを毎年度 1%縮減</p> <p>【29 年度の取組】 東京オリンピック・パラリンピックや震災復興等による建設工事量の増大により全国的に技術者が不足しているため、建設費は高止まり状況であり、単にコスト削減の数値目標としては、達成することは困難であった。</p> <p>【進捗が遅い理由等】 深刻な担い手の不足や東京オリンピック開催等による資材の高止まりにより市場単価が上昇しており、コスト削減が難しい。</p>
71	橋梁長寿命化に向けた計画的な維持管理	道路課	<p>【達成目標】 橋梁長寿命化修繕計画内の全橋梁修繕完了</p> <p>【29 年度の取組等】 近接目視点検98橋実施。 ・橋梁詳細設計業務委託1橋実施【小宅橋】 ・橋梁修繕工事1橋実施【小宅橋】</p> <p>【進捗が遅い理由等】 小山市が管理する456橋の近接目視点検を平成26年～30年度の5ケ年で実施している。近接目視点検の結果、判定区分が悪い橋梁の「詳細設計業務委託」「橋梁補修工事」を進めていくため。</p>
73	農業集落排水処理施設最適整備構想の策定	下水道課	<p>【達成目標】 最適整備構想策定による計画的な施設更新の実施</p> <p>【29 年度の取組等】 既存農業集落排水施設2箇所の機能診断を実施した。</p> <p>【進捗が遅い理由等】 国庫補助金の充当額が要求した額(7 箇所の機能診断)に満たなかったため、当初の計画よりも遅れた。</p>
81	協働による地域価値の維持・向上	区画整理課	<p>【達成目標】 エリアマネジメント組織の立ち上げの促進(平成 30 年度に 1 組織を立ち上げ)</p> <p>【29 年度の取組等】 保留地を購入したハウスメーカーに今後地区の新住民に当該地区の地域活動を委ねたい旨説明し、ハウスメーカーを介し新住民の代表者を決定した。</p> <p>【進捗が遅い理由等】 区画整理地内の戸建て分譲が始まったばかりで区画整理地内における新住民が9世帯程度と少なく、取組みを検討する場を設けられなかった。</p>